

## 平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年6月28日

上場会社名 株式会社ダイヤモンドダイニング 上場取引所 大  
 コード番号 3073 URL <http://www.diamond-dining.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松村 厚久  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 樋口 康弘 TEL 03-6860-3250  
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	6,293	1.0	241	31.9	256	15.3	115	27.9
25年2月期第1四半期	6,232	61.9	183	—	222	—	89	—

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 134百万円 (29.5%) 25年2月期第1四半期 104百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	4,760.46	—
25年2月期第1四半期	3,718.37	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第1四半期	12,940	2,915	22.5	121,294.47
25年2月期	11,899	2,859	24.0	118,294.11

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 2,915百万円 25年2月期 2,859百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	2,500.00	2,500.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株式制度の採用を決議しております。平成25年2月期の配当金につきましては、当該株式分割前の配当金を記載しております。

### 3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,251	△0.6	287	0.8	308	△12.4	128	54.6	52.99
通期	24,300	△2.9	510	△26.1	530	△35.4	174	124.8	72.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株式制度の採用を決議しておりますが、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
平成25年3月1日付で、連結子会社であった株式会社シークレットテーブルは、当社を存続会社とした  
吸収合併により消滅したため、当第1四半期連結会計期間において、当社グループは、当社、連結子会社  
6社及び非連結子会社2社の計9社により構成されることとなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特  
有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積  
りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期1Q	24,220株	25年2月期	24,220株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	186株	25年2月期	44株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期1Q	24,159株	25年2月期1Q	24,176株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点  
において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来見通しに関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報  
及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のもの  
ではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により本資料記載の予想と異なる可能性がございます。業績予  
想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算  
に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権下における金融緩和をはじめとした各種政策など経済成長への期待感から、個人消費の持ち直し、雇用情勢に改善の動きが見られ、景気回復の緩やかな持ち直しが見られたものの、欧州における経済不安、新興国における景気の減速、消費税増税等に対する不安感から、依然として景気の先行きが不透明な状況でありました。

当社グループを取り巻く経営環境におきましても、消費マインドに改善の兆しが見られるものの、外食業界における企業間の顧客確保の競争は激しさを増しており、当業界を取り巻く経営環境は引き続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような環境下、当社グループは、『世界一のエンターテイメント外食企業グループ』へ向けた収益基盤強化を図るため、当第1四半期連結累計期間におきましては「マルチ（複数）ブランド」戦略におけるブランドマネジメント制を加速させ、店舗競争力復活及び高付加価値の創造を実現させるため、高収益業態店舗への業態集約に取り組んでまいりました。

また、当社グループは、平成25年3月1日を効力発生日として、飲食事業セグメントを構成する当社及び当社の完全子会社である株式会社シークレットテーブルならびに同株式会社バグースの飲食事業部門を合併及び会社分割の方法によるグループ内組織再編を実施致しました。このグループ再編により、ブランドマネジメント制による更なる効率性・収益性の向上・強化を図ると同時に、一層の経営効率化、業務運営体制の充実化、グループガバナンス強化を図ってまいります。

当社グループ各社の店舗展開状況及び直営店舗数につきましては、当社単体では41店舗のグループ内譲受（グループ内組織再編による増加）、7店舗のグループ内譲渡、29店舗の業態変更、7店舗の退店により計116店舗、株式会社ゴールデンマジックは9店舗のグループ内譲受、5店舗の業態変更、1店舗の退店により計54店舗（別途ライセンス店舗は4店舗）、株式会社サンプルは2店舗のグループ内譲渡により計2店舗、アミューズメント事業を主に展開する株式会社バグースは、新業態となります「1967」1店舗の新規出店、7店舗のグループ内譲渡、1店舗の退店により計43店舗となっております。

米国ハワイ州（ホノルル）1店舗及び同カリフォルニア州（ロサンゼルス）の1店舗を含めた平成25年5月31日現在における当社グループの直営店舗数は、計217店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高6,293百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益241百万円（前年同期比31.9%増）、経常利益256百万円（前年同期比15.3%増）、四半期純利益115百万円（前年同期比27.9%増）となりました。

セグメント業績は以下のとおりであります。

#### ① 飲食事業

マルチブランド戦略を推進する飲食事業におきましては、当社グループの強みである「コンセプト」・「空間」・「ストーリー」を一層魅力あるものにし、お客様のリピート率向上を図るため、従来以上にQSC（Quality：品質、Service：サービス、Cleanliness：清潔さ）の強化・徹底に取り組むと同時に、今後の集客力強化及び売上高向上の施策の一環として、予約コールセンター及びオンライン予約システムの利便性強化、DDマイル（ご予約者様専用のポイント制度）の会員数増加施策の仕組作りに努めてまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,719百万円（前年同期比2.0%増）、セグメント利益は410百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

#### ② アミューズメント事業

「BAGUS」ブランドにて展開しておりますアミューズメント事業におきましては、ビリヤード・ダーツ部門では初心者ターゲットとした新規顧客層の獲得による顧客層拡大に注力する一方、当社グループのフラグシップ店舗として新業態「1967」の出店を行うなど、収益基盤の多様化に努めてまいりました。複合カフェ部門では非稼働エリア・非稼働時間帯の稼働向上策を実施する事で集客力向上に取り組む一方、店舗へのダーツ台導入、MSR（ミステリーショッピングリサーチ）への取り組み強化により、お客様満足度の向上に取り組んでまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,562百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益は170百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

#### ③ ライセンス事業

ライセンス事業におきましては、継続的に定期的な事業説明会、店舗見学会等による積極的な加盟店募集に努めてまいりました結果、平成25年5月31日現在における加盟店および出店数は、24加盟の獲得、4店舗の出店となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11百万円（前年同期比56.7%減）、セグメント損失は16百万円（前年同四半期は15百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,041百万円増加し、12,940百万円となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金、売掛金、有形固定資産がそれぞれ899百万円、62百万円、53百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ986百万円増加し、10,025百万円となりました。主な要因といたしましては、社債及び1年内償還予定の社債がそれぞれ840百万円、220百万円増加した一方、長期借入金が269百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ55百万円増加し、2,915百万円となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金及び為替換算調整勘定がそれぞれ54百万円、19百万円増加した一方、自己株式が19百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年4月12日付「平成25年2月期決算短信[日本基準](連結)」で開示いたしました平成26年2月期の第2四半期累計期間の業績予想を修正いたしました。なお、通期連結業績予想につきましては、変更はありません。詳細につきましては、同日公表の「平成26年2月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年3月1日付で、連結子会社であった株式会社シークレットテーブルは、当社を存続会社とした吸収合併により消滅したため、当第1四半期連結会計期間において、当社グループは、当社と連結子会社6社により構成されることとなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当第1四半期連結会計期間において、期首の繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、繰延税金資産の金額は45,131千円増加しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却の方法)

法人税法の改正(平成23年12月2日公布の「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)、「法人税法施行令の一部を改正する政令」(平成23年政令第379号)及び「法人税法施行規則の一部を改正する省令」(平成23年財務省令第86号)並びに平成24年1月25日公布の「減価償却資産の耐用年数等に関する省令の一部を改正する省令」(平成24年財務省令第10号))に伴い、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法(200%定率法)に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,882,986	3,782,641
売掛金	257,629	320,505
商品	10,916	10,594
原材料及び貯蔵品	124,592	122,818
その他	831,436	887,991
貸倒引当金	△1,641	△2,189
流動資産合計	4,105,920	5,122,362
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,143,572	7,180,627
減価償却累計額	△4,434,537	△4,474,702
減損損失累計額	△632,199	△590,712
建物(純額)	2,076,835	2,115,212
車両運搬具	—	1,714
減価償却累計額	—	△285
車両運搬具(純額)	—	1,428
工具、器具及び備品	2,152,309	2,164,971
減価償却累計額	△1,849,304	△1,841,118
減損損失累計額	△73,579	△61,541
工具、器具及び備品(純額)	229,424	262,311
土地	90,216	90,216
リース資産	483,631	496,026
減価償却累計額	△257,227	△280,765
減損損失累計額	△14,464	△14,464
リース資産(純額)	211,938	200,796
建設仮勘定	15,563	7,514
有形固定資産合計	2,623,979	2,677,480
無形固定資産		
のれん	455,043	419,793
その他	66,419	61,306
無形固定資産合計	521,463	481,099
投資その他の資産		
差入保証金	4,070,936	4,039,235
その他	577,477	620,391
貸倒引当金	△771	—
投資その他の資産合計	4,647,641	4,659,626
固定資産合計	7,793,083	7,818,206
資産合計	11,899,004	12,940,569

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	523,412	548,746
短期借入金	75,834	13,336
1年内返済予定の長期借入金	1,838,002	1,706,233
1年内償還予定の社債	180,000	400,000
未払法人税等	166,747	121,765
賞与引当金	30,484	74,809
株主優待引当金	14,117	13,606
資産除去債務	43,154	36,621
その他	1,649,300	1,833,608
流動負債合計	4,521,053	4,748,727
固定負債		
社債	420,000	1,260,000
長期借入金	3,132,943	2,863,877
資産除去債務	381,816	374,105
負ののれん	114,614	84,175
その他	468,699	694,492
固定負債合計	4,518,072	5,276,650
負債合計	9,039,126	10,025,378
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	502,015	502,015
資本剰余金	492,015	492,015
利益剰余金	1,850,203	1,904,771
自己株式	△2,413	△21,476
株主資本合計	2,841,820	2,877,325
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	18,057	37,865
その他の包括利益累計額合計	18,057	37,865
純資産合計	2,859,878	2,915,191
負債純資産合計	11,899,004	12,940,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	6,232,429	6,293,772
売上原価	1,419,226	1,421,175
売上総利益	4,813,203	4,872,596
販売費及び一般管理費	4,629,870	4,630,830
営業利益	183,332	241,766
営業外収益		
負ののれん償却額	30,438	30,438
為替差益	142	13,791
その他	38,577	18,546
営業外収益合計	69,158	62,776
営業外費用		
支払利息	23,806	24,230
支払手数料	—	23,940
その他	6,560	339
営業外費用合計	30,367	48,509
経常利益	222,123	256,032
特別利益		
固定資産売却益	34,183	2,903
特別利益合計	34,183	2,903
特別損失		
固定資産除却損	37,666	1,023
減損損失	—	57,024
特別損失合計	37,666	58,047
税金等調整前四半期純利益	218,640	200,888
法人税等合計	128,745	85,880
少数株主損益調整前四半期純利益	89,895	115,007
四半期純利益	89,895	115,007

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	89,895	115,007
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	14,231	19,807
その他の包括利益合計	14,231	19,807
四半期包括利益	104,126	134,815
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,126	134,815
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食事業	アミューズ メント事業	ライセンス 事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	4,624,799	1,581,630	26,000	6,232,429	—	6,232,429
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,624,799	1,581,630	26,000	6,232,429	—	6,232,429
セグメント利益	411,163	182,737	15,907	609,808	△426,476	183,332

(注) 1. セグメント利益の調整額△426,476千円は、主に各報告セグメントに配分していない間接部門費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第1四半期連結累計期間において、当社グループはライセンス事業に進出したことにより、同事業を報告セグメントに追加しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食事業	アミューズ メント事業	ライセンス 事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	4,719,580	1,562,933	11,258	6,293,772	—	6,293,772
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,719,580	1,562,933	11,258	6,293,772	—	6,293,772
セグメント利益又は セグメント損失(△)	410,099	170,725	△16,588	564,236	△322,470	241,766

(注) 1. セグメント利益の調整額△322,470千円は、主に各報告セグメントに配分していない間接部門費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、撤退予定の1店舗について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては24,760千円であります。

「アミューズメント事業」において、撤退予定の1店舗について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては32,264千円であります。